



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月11日

上場会社名 株式会社 パシフィックネット

上場取引所 東

コード番号 3021 URL <http://www.prins.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 上田 満弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 菅谷 泰久

TEL 03-5730-1442

四半期報告書提出予定日 平成23年10月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	834	△1.7	48	—	50	—	29	—
23年5月期第1四半期	848	—	△30	—	△27	—	△39	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 28百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	1,123.33	—
23年5月期第1四半期	△1,597.14	—

(注) 23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、23年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	2,456	1,659	66.1
23年5月期	2,487	1,660	65.2

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 1,623百万円 23年5月期 1,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,830	7.0	67	—	71	—	34	—	1,336.25
通期	3,795	10.0	136	—	142	—	58	—	2,278.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	25,875 株	23年5月期	25,875 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	— 株	23年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	25,875 株	23年5月期1Q	24,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
(6) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用.....	9
(7) 賞与引当金.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生及び福島第一原子力発電所の事故による影響により個人消費が低迷し、経済活動が停滞したことに加え、欧州の財政問題・米国の景気停滞懸念等から極端に円高状況が続き、景気の先行きが極めて不透明なまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、景気低迷を受け、入替需要が鈍化する中、一方でiPad等の急速な普及でリユース品の低価格が進展し、中古情報機器業界全体が厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、中古情報機器の再生プロセスを大幅に見直す等、徹底したコスト削減を実施いたしました。また、支店・店舗の統廃合を前期に実施したこと等も今期に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高834,363千円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益48,169千円（前年同四半期は営業損失30,120千円）、経常利益50,846千円（前年同四半期は経常損失27,974千円）、四半期純利益29,066千円（前年同四半期は四半期純損失39,731千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①引取回収・販売事業

引取回収事業は、主要仕入先のリース・レンタル会社と一般法人等への仕入強化の一環として、本年6月に本部営業組織を一本化し、首都圏を中心に営業を強化いたしました。また、当社出資会社の「株式会社スマート スタイル クリエイト」において、買取り・販売を開始し、中小企業及び個人への仕入を強化いたしました。

販売事業は、種々の改革案を実施し、インターネット通販についてはコンシューマーモデルを充実させ、また、ショップについてはペリフェラル・防災・節電グッズ等、魅力的な店作りで集客力を飛躍的に増加させ、個人向け販売だけではなく、一般法人向け販売も強化いたしました。なお、販売単価の下落により減収となりましたが、継続的にコスト削減を実施いたしました。

この結果、売上高675,258千円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益22,682千円（前年同四半期は営業損失58,411千円）となりました。

②レンタル事業

レンタル事業は、官公庁・自治体等の一般競争入札等の案件に積極的に参加する一方、一般法人の新規開拓営業に注力いたしました。また、これまでPCを中心としたラインナップにタブレット端末やスマートフォン等を追加し、レンタルニーズの多様化に対応した営業を推進いたしました。

この結果、売上高159,105千円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益25,486千円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,456,331千円（前連結会計年度末比31,505千円減）となりました。

この内、流動資産は1,514,207千円（前連結会計年度末比21,081千円減）となりました。これは主に商品が24,974千円増加し、現金及び預金が9,488千円、売掛金が46,661千円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は942,124千円（前連結会計年度末比10,424千円減）となりました。これは主にレンタル資産（純額）が6,041千円、有形固定資産その他（純額）が12,083千円それぞれ減少したことによるものです。

負債は796,610千円（前連結会計年度末比31,158千円減）となりました。

この内、流動負債は496,483千円（前連結会計年度末比16,906千円増）となりました。これは主に未払法人税等が31,324千円、賞与引当金が16,787千円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金金が16,666千円減少したことによるものです。

固定負債は300,126千円（前連結会計年度末比48,065千円減）となりました。これは主に長期借入金金が41,666千円減少したことによるものです。

純資産は1,659,720千円（前連結会計年度末比347千円減）となりました。これは利益剰余金が603千円増加し、少数株主持分が946千円減少したことによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日（平成23年10月11日）開示の資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,057,316	1,047,827
売掛金	243,038	196,376
商品	163,605	188,580
その他	84,840	92,271
貸倒引当金	△13,512	△10,848
流動資産合計	1,535,288	1,514,207
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	1,049,258	1,002,550
減価償却累計額	△589,108	△548,442
レンタル資産（純額）	460,149	454,108
その他	547,922	546,301
減価償却累計額	△362,590	△373,053
その他（純額）	185,331	173,248
有形固定資産合計	645,481	627,357
無形固定資産	12,492	11,281
投資その他の資産		
差入保証金	215,383	215,031
その他	79,452	88,713
貸倒引当金	△261	△259
投資その他の資産合計	294,574	303,485
固定資産合計	952,548	942,124
資産合計	2,487,837	2,456,331
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,840	125,740
1年内返済予定の長期借入金	216,670	200,004
未払法人税等	307	31,632
賞与引当金	—	16,787
商品保証引当金	3,732	3,977
その他	135,025	118,342
流動負債合計	479,577	496,483
固定負債		
長期借入金	216,671	175,005
資産除去債務	75,865	76,008
その他	55,655	49,112
固定負債合計	348,191	300,126
負債合計	827,769	796,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,750	432,750
資本剰余金	525,783	525,783
利益剰余金	664,530	665,134
株主資本合計	1,623,063	1,623,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△4
その他の包括利益累計額合計	—	△4
少数株主持分	37,003	36,057
純資産合計	1,660,067	1,659,720
負債純資産合計	2,487,837	2,456,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	848,763	834,363
売上原価	443,320	420,594
売上総利益	405,443	413,769
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	137,421	123,091
賞与引当金繰入額	6,627	13,101
地代家賃	88,224	77,959
その他	203,290	151,447
販売費及び一般管理費合計	435,563	365,600
営業利益又は営業損失(△)	△30,120	48,169
営業外収益		
受取利息	40	44
受取配当金	6	—
受取家賃	1,130	829
受取賃貸料	1,923	1,250
貸倒引当金戻入額	—	2,664
雑収入	429	870
営業外収益合計	3,529	5,658
営業外費用		
支払利息	464	1,501
為替差損	918	1,479
営業外費用合計	1,383	2,981
経常利益又は経常損失(△)	△27,974	50,846
特別利益		
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
固定資産売却損	18	—
固定資産除却損	193	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,655	—
特別損失合計	37,868	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△65,737	50,846
法人税、住民税及び事業税	1,074	29,306
法人税等調整額	△25,762	△6,578
法人税等合計	△24,688	22,727
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,049	28,119
少数株主損失(△)	△1,317	△946
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,731	29,066

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△41,049	28,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△4
その他の包括利益合計	△23	△4
四半期包括利益	△41,072	28,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,755	29,062
少数株主に係る四半期包括利益	△1,317	△946

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	697,768	150,994	848,763	848,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	697,768	150,994	848,763	848,763
セグメント利益又は損失 (△)	△58,411	28,291	△30,120	△30,120

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業損失が一致しているため、該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	675,258	159,105	834,363	834,363
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	675,258	159,105	834,363	834,363
セグメント利益	22,682	25,486	48,169	48,169

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及

び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業利益が一致しているため、該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

該当事項はありません。

(6) 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(7) 賞与引当金

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額18,194千円を未払費用に含めて計上しております。